

会 議 録

会議名	平成30年度 第8回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成31年1月28日(月) 19時10分～20時40分	
開催場所	小金井市第二庁舎 801会議室	
出席者	委員	鈴木委員長、安達副委員長、大澤委員、中山委員、鈴木委員、津田委員、大村委員、藤森委員、井出委員、田上委員、下田委員
	事務局	山田学童保育係長
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 平成31年度入所申請者数について</p> <p>(2) 設備及び運営に関する基準の参酌化(従うべき基準の廃止)について</p> <p>(3) 各学童の外国語対応の現状に関するアンケートについて</p> <p>(4) 大規模化対策の予算について</p> <p>(5) ドッチボール大会について</p> <p>(6) その他</p> <p>3 閉会</p>	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料30-25】平成31年度入所申請者数について ・【資料30-26】各学童の外国語対応の現状に関するアンケートについて 	
議事	<p>1. 開会</p> <p>事務局より、配布資料の確認。</p> <p>2. 議題</p> <p>事務局より資料の確認</p> <p>(市) 平成30年度第8回協議会を開催する。本日の議題は5件。</p> <p>(1) 平成31年度入所申請者数について</p> <p>(市) 一つ目の議題、平成31年度入所申請者数について。【資料30-25】。申請期間は平成30年12月5日から12月13日の期間で受付し、本日までの申請取下げ者を除外した最新の数値を提示させていただいた。</p> <p>(学) あかね学童については入所者数が昨年より多くロッカーなど不足するが各学童の指導員とどのような話をされているか。</p> <p>(市) 申請受付終了後、すぐに各学童に照会をかけ不足数を確認し、机や椅子など納品までに時間がかかるものは発注しており今年度内に納品されるよう準備を進めている。ロッカーについては工務店と調整しロッカーを増やしたり、既存の棚をロッカーとして使用できるようにするな</p>	

ど調整をしているが、こちらも今年度中に対応する目途は付いている。食器などの細かい物品についても今年度中に揃える予定である。

(学) 1つの棚として使用していたところを2つ分のロッカーにすると遊具の保管場所が減るなど子どもたちに影響があるのではないか。あかね学童は指導員の靴箱すら不足している。

(市) ほんちょう学童、みどり学童については昨年より今年度のほうが申請者数が少なく現段階では不足しないとの認識をもっている。

(市) 参考までに昨年度の申請者数を伝えるが、たまむし113人、あかね184人、ほんちょう104人、さくらなみ119人、さわらび96人、たけとんぼ96人、まえはら113人、みどり107人、みなみ78人、合計1,010名であった。その後辞退等があり、スタートは988名だった。

(学) 現時点であかね・たまむし・さくらなみは増えている。ロッカーは足りるのか。

(市) ロッカーをどのように設置するかは現在調整中であるが、既存の棚等の上に置くような形になると思われる。

(学) 申請期間後の申請者の取り扱いはどうなっているか。

(市) 申請期間後に申請した者は現在4名いる。申請取り下げ者が出た場合その人数分だけ充当され、取り下げが出ない場合は保留・待機となる。

(学) 毎年何名くらい保留・待機がいるのか。

(市) 昨年は承認通知を発送した段階で、1名の保留者がいた。その後、取り下げ者が出たためその枠に入り4月1日時点では保留・待機はいなかった。

(学) たまむし学童は1年生がかなり増えているがどのような理由が考えられるか。

(市) 我々も驚いている。昨年7月に保育園に調査をしたが、市境で他市の認証保育所や幼稚園に通っていた方などがアンケートに反映されなかったのではないかと、地域的にマンションが建設され入所が増えたのでは、という程度しか分析しきれていない。

(学) たまむし学童の地域は保育園が建設されたばかりでまだ急増しないと思っていたがどうか。

(市) 東町近辺は梶野町などと同じように人口増になることは把握している。子育て世帯が転入しているデータはあるがこの急増には驚いている。今後は学校の出すデータも参考にして行きたい。あかねについても引き続き伸びていくと考えている。

アンケートを取りどのような世帯が入居してくるか把握するようにし

ている。ほんちょう・みどりは人数が伸びるだろうと予測したところがあまり伸びていない。いずれにしても全体的に人口は微増しており、増えていくことは把握している。

(学) 障害児について4年生が増加傾向にあるがどのように分析しているか。

(市) 4年生の障がい児のうち普通学級の子は学童に在席しない傾向だが、特別学級の子は在籍する傾向にある。

(学) 多少増減があっても大丈夫なのか。

(市) 加配なども適切に行うため、問題はないと考えている。

(学) 人数が増えることにより指導員の数は足りるのか。

(市) 児童数が増えた場合、臨時職員の数に影響する。障害のあるお子さんが増えると臨時職員・非常勤職員の双方の人数に影響する。現時点では、平成31年度の臨時職員は、今年度と比較して5～8名は増員が必要と考えている。今後雇用するため働きかける予定である。

(学) 臨時職員の応募は多いのか。

(市) 人員確保には苦慮しているが、昨年のスタート時は、欠員はなかった。今回4年生の障害児の人数が多く加配が必要な職員が多数必要であり確保を進めている。

(2) 設備及び運営に関する基準の参酌化(従うべき基準の廃止)について

(市) 次の議題、設備及び運営に関する基準の参酌化、従うべき基準の廃止について。

(学) 11月の当協議会で基準の参酌化について話があり、学保連にも周知し各学童の父母会にも周知した。本件について、その後の動きがあれば伺いたい。

(市) 国からはなんら方針が示されていないため、現時点では皆様に示せるものがない。待機児童の解消の一環として指導員の人数を減らすのであれば運営委託の内容にも影響し、その他にも様々なところに影響が出ると考えている。情報があれば提示していく。

(学) 参酌化については本定例会に条例は出ないのか。

(市) 先ほどの説明のとおり、国から何ら方針・通知は示されておらず、我々も新聞報道の情報しかない状況である。よって、本定例会のタイミングで条例改正ということはない。

(3) 各学童の外国語対応の現状に関するアンケートについて

(市) 次の議題、各学童の外国語対応の現状に関するアンケートについて。
(学) 学保連の研究部が各学童の対応状況について指導員にアンケートをし、取りまとめたものが本資料である。今後、学童保育所での外国語対応が増えると思われ、具体的な対策が必要と考えるが、市としては外国語対応についてどのように考えているか伺いたい。

(市) 現時点では児童青少年課に直接要望等は来ていない。丁寧に説明する、筆談をするなどでコミュニケーションを取るようになっている。通訳の方が同伴している場合もある。書類を書いてもらうのが一番大変であり、児童台帳などは聴き取りをしながら指導員が記入したり、携帯アプリの翻訳機で調べたりしながら記入している。電話での意思疎通はとても難しいと感じる。

(学) 現状の外国語対応が必要な世帯数や対応方法、課題となっている点について市から調査資料を提示してもらいたい。

(市) 資料の内容を調整した上、提出していきたい。

(4) 大規模化対策の予算について

(市) 次の議題、大規模化対策予算について。どのような点を確認したいか。

(学) みどり・ほんちょう・まえはらの大規模化についての現在の状況を確認したい。

(市) 予算の内示は出ているがこれから議会に出し確定してからの報告になる。具体的なものとして、あかねの第4、5については予算案を出している。新年度予算可決後、例年どおり文書で回答する。

(学) みどり、ほんちょうについてはどうか。

(市) 新年度予算の内容が確定次第ご報告するのでご理解いただきたい。

(学) みどりに関しては昨年度大規模化の予算についての要望書を出したので、何らかのご回答を頂きたい。

(市) のびゆくこどもプランについて平成32年度から新しいプランになる。その中で、学童も計画数値を示さなければならず、それぞれの施設状況を考慮した上で計画に反映することを考えている。

(学) 文書で回答書はいただけるのか。

(市) 現時点の状況を報告する形で回答は作成させていただく。

(5) ドッチボール大会について

(学) 継続できないか学保連で議論しているがまだ正式見解はまとまっておらず、今後取りまとめする予定である。キャンプなどは市の行事から

	<p>父母会行事になった経緯があるが、これ以上父母会で行うのは難しいとの意見が多い。</p> <p>(市) 本日の時点では承知した。意見・要望等が取りまとめられ次第、改めて伺いたい。</p> <p>(6) その他</p> <p>(市) 次回日程は、2月18日月曜日若しくは2月19日火曜日で調整願いたい。</p> <p>3. 閉会</p>
--	---